

公式記録

マッチコミッショナー	主 審
渡邊 健	作本 貴典

大会名：平成30年度 第40回 九州高等学校（U-17）サッカー大会（九州高等学校サッカー新人大会） マッチNo. [30]

日時	2019年2月18日 14:00	試合形式	70分	会場	大津町運動公園多目的広場CDコート（人工芝）				
天候	晴	気温	11.0℃	湿度	51.0%	風	微風	ピッチ状態	観客数
マッチコミッショナー	渡邊健	副審1	辻 滉平	第4の審判	野村浩太郎	芝	人工芝		100人
主 審	作本貴典	副審2	松原寛人	記録担当	安田幸紀	表面	乾燥		

私立宮崎日本大学高等学校	0	0	前半	2	2	熊本県立大津高等学校
		0	後半	0		
			延長前半			
			延長後半			

Kick off

P

K

Kick off

交代No.	シ ョ ー ト	得点	選手名	番号	位置	番号	選手名	得点	シ ョ ー ト					交代No.	
									計	前半	後半	延前	延後		out時間
			東上里 康登	1	GK	1	福山 翔紀								
			田崎 常慈	4	DF	2	猪谷 匠	1	1				66分	12	
			高木 俊秀	5	DF	3	麻生 恭平	1		1					
			黒木 俊吾	6	DF	4	金子 遼太郎								
			小野 翔汰	12	DF	5	立野 航海								
			橋邊 好佑	7	MF	6	荒木 慶翔						70分+3分		
			矢野 翔大	10	MF	7	佐藤 悠平	2	1	1					
			山口 哲平	13	MF	8	藤井 瑛斗								
			田中 和騎	15	MF	9	半代 将都								
9	HT		野田 隼輔	20	MF	10	樋口 堅大	2	2	2					
16	70分+1分		櫻田 優樹	11	FW	11	浦崎 海聖								
			甲斐 晴十郎	17	GK	16	佐藤 亮太								
			矢野 瑞貴	2	DF	12	野田 昌秀								
			上田 魁人	3	DF	13	時松 航世								
			森井 佑亮	14	DF	20	中川 颯								
			関原 琢也	18	DF	15	大島 清真								
			福留 龍磨	8	MF	19	島崎								
			日野 昂	19	MF	14	野口 陸斗								
			行田 啓斗	9	FW	17	杉山 佳宏								
			角 佑哉	16	FW	18	角石 右京								

警告 退場 監督 監督 警告 退場

時間	区分	No.	氏名	理由	監督 監督												
38分	警	12	小野 翔汰	遅延	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後				
					0	0	5	3	8	6	4	2	0				
							3	2	5	5	2	3					
							2	4	6	2	1	1					
							3	5	8	14	5	9					
							1	1	2	0							
							1	(1)	(0)								
									PK								

得点時間	得点チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過記録例]：～ドリブル、→ゴロのパス、↑浮き球パス、×混戦、Sシュート、Hヘディング											
2分	大津	10	樋口 堅大	1-0	中央3	1	↑	中央2	7	→	中央1	×	10	②タッチ以上		
5分	大津	10	樋口 堅大	2-0	右2	9	→	中央1	7	→	10	ダイレクト	右S			

P K 戦 の 経 過	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----

[試合時間] 前半：[:]、後半：[:]、合計：[:]

【戦評】 決勝進出を懸けて行われた一戦は、宮崎日大が中盤にダブルボランチを置く4:4:2、大津が4:2:3:1のシステムでスタートした。立ち上がりには得点を重ねた大津は、MF@樋口を中心に積極的な仕掛けと流動的なポジションチェンジで相手の隙を縫うように、ゲームの主導権を握る。対する宮崎日大も、組織的に粘り強く守りながら奪ったボールを攻撃に繋げようと試みるが、大津の素早いプレスに苦しみ得点機を作れない。後半に入り、宮崎日大は4:1:4:1にシフトチェンジして前線への圧力を強め、徐々に流れを引き寄せる。一方の大津も最終局面の守備で集中力を保ち、時折鋭いカウンターでチャンスを作り出す。一進一退となった試合は、序盤に得た優位性を生かした大津が勝利し、決勝進出を決めた。敗れた宮崎日大も健闘したが、立ち上がりの失点と決定機を生かせなかったことが悔やまれた。

【記入者：迫 宏一】